

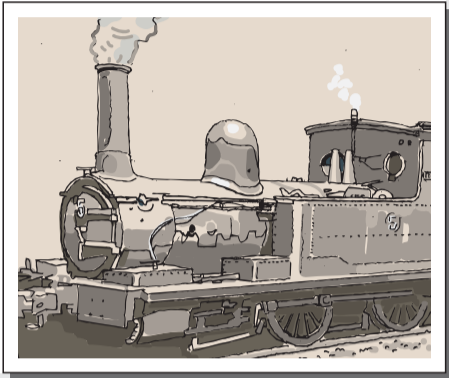
こたゝいらし ちよつとむかし

あけましておめでとうございます。
新年恒例の「こたゝいらちよつとむかし」。今年は市内にある駅や路線について、タマおばあさんに語ってもらいました。昔は今からは考えられないほど、のんびりしたものでした。



西武国分寺線

鉄道が小平で一番早くできたのは西武国分寺線で、今から百20年以上前なんだよ。当時は蒸気機関車で、国分寺から川越まで通っていたの。だから川越線と呼んでいたのよ。小川駅はこの時にできて、小平で一番歴史のある駅なんだよ。



開業当時の便は一日3本ぐらいで、車両は貨物車と客車がついていたんだよ。
煙突からポッポ、ポッポと黒い煙を出して走る姿を見て、汽車ポッポと呼んだの。汽車が珍しいものだから、お弁当を持って、遠くから見物に来る人もいたぞうだよ。

汽車は、走っているとき煙にまじって火の粉もいっしょに飛ぶので、「火事が走ってきた」って、驚かれたんだって。線路近くの家では、火事になるのがこわくて、かやぶき屋根からトタン屋根に変えた家もあったんだよ。

実際に、線路脇の枯草が燃えたことがあってね、小学生の子どもが見つけて消したんだよ。そのことで校長先生から呼びだされて、その子はとってもわんぱくで、てっきり怒られると思ったら、ほめられてびっくりしたんだよ。
昭和の初めごろには、汽車は電車に変わって東村山駅までしか行かなくなっちゃったけど、汽車が川越まで走っていた名残で、ずっと川越線と呼ぶ人はいたね。鷹の台の駅ができたのは、戦後まもなくだね。

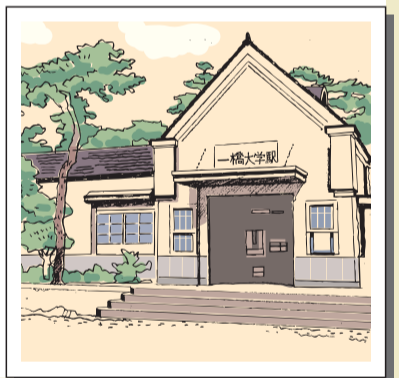
西武多摩湖線

西武多摩湖線は昭和の始めに通って、最初は電車じゃなくて、たった1両のガソリンカーが線路の上を走っていたの。速度が遅くて、人が走るぐらいなんて言う人もいたね。

当時は一時間に1本か2本ぐらいで、乗る人も少ないのに、四十二人乗りとみんな呼んでいたの。それは運転手と車掌の「始終二人乗り」という冗談なんだけどもね。

青梅街道駅の近くではよく脱線してね。車掌さんが秋山駅近くの保線区(工夫の詰所)まで線路を歩いて、工夫さんと呼びに行くの。工夫さんは車両を棒で持ち上げて、元に戻したんだよ。多摩湖線の駅は、今は市内に2つしかないけど、昔は5つもあったんだよ。玉川上水の近くには桜堤駅があって、花見の時期はたくさんのお客でにぎわったの。一橋学園駅はまだなくて、一橋大学駅と小平学園駅があったんだよ。

一橋大学駅は、開業当時は商大予科前駅という名前前で、一橋大学駅に名前が変わったのは、昭和24年になるわね。場所は一橋学園駅南のロータリーにあったの。三角屋根のコンクリートで、小さいけどがっしりとしたつくりで、しゃれた建物だったわね。ホームも上りと下りがあったんだよ。



って、単線の多摩湖線はこの駅ですれ違ったのよ。

隣の小平学園駅は、改札がある木造の簡単な駅舎で、ホームも片側しかなかったけど、駅の手前には花が植えられた花壇があって、家や動物のミニチュアが飾ってあって、とてもかわいらしかったね。この2つの駅は3、4百しか離れていないけど、あんまりにも駅と駅との距離が近いので、昭和41年に一橋学園駅に名前を変えて統合されたんだよ。

ほかにも、青梅街道駅と小平学園駅の間には厚生村駅もあったんだよ。
昭和30年ごろは乗る人もまだそんなに多くなかったから、乗り遅れそうなのがいたら、車掌さんが待ってくれたよ。
当時の電車のドアは、手で開け閉めしたの。それを知らない人が、自動で開くものだと思っていて、ドアの前で待っても開かなくて、次の駅まで連れて行かれて困ったなんてこともあったんだよ。

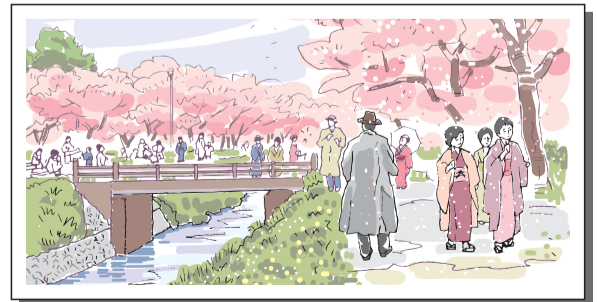
駅の近くは舗装されている道路がほとんどなくて、雨が降ると、ぬかるんで大変だったの。小平学園駅には下駄箱があって、駅まではいてきた長靴を、電車に乗る前に短靴にきき替えたんだよ。ぬいだ長靴を下駄箱に置いていたけど、無くなることはなかったんだよ。

西武新宿線

西武新宿線も昭和の初めに開通したんだよ。

花小金井駅は小平なのに、なぜか小金井の名前がついているよね。それはね、小金井橋に近いということ。花小金井の名前が付けられたそうだよ。玉川上水の小金井橋沿いは桜の名所で、花見客が東京のほうからも鉄道でたくさん来ていたの。

でも、その当時は花見の時期以外は降りる人があまりいなくて、草が生えちまうって、草小金井なんて呼ぶ人もいたね。ふだんは駅に職員さんはいなかったんだよ。



JR武蔵野線

武蔵野線ができたのは、昭和48年で、小平で一番遅くできた路線だね。

もともとは貨物線として使われていたけど、沿線に家が多くなって、人も運ぶようになったんだよ。最初は貨物列車のほうが多くて、電車は昼間は40分に1本ぐらいしかなかったの。朝だって、15分から20分に1本ぐらい。それが乗る人が多くなって、だんだんと増えていったんだよ。

武蔵野線は西武国分寺駅から新秋津駅までは地下を通るんで、



その間にある新小平の駅のホームは地面よりかなり下にあるね。平成3年に大きな台風がきたとき、新小平駅の線路が水没したことがあったの。水が引かなくて、2か月ぐらい西武国分寺駅と新秋津駅の間が不通になってしまったこともあるんだよ。



タマおばあさんのお話はいかがでしたか。感想をどうぞお寄せください。
協力 小平民話の会
問合せ 秘書広報課 ☎042(341)1211(代表) 46)9505